

横浜市下水道事業中期経営計画 2022（素案）に関する市民意見募集の状況（速報）

持続可能な下水道経営に向けて、今後4年間の施策・事業運営・財政運営の方向性と具体的な取組を掲げた実施計画である「横浜市下水道事業中期経営計画 2022」の策定にあたり、素案に関する市民意見募集を実施しました。

市民意見募集の実施状況（速報）について、報告します。

1 実施概要

募集期間	令和4年9月20日（火）から10月19日（水）まで
提出方法	オンラインフォーム、電子メール、郵送、FAX
素案の公表場所	各区役所広報相談係 市民情報センター（市庁舎3階） 環境創造局下水道事業マネジメント課（市庁舎28階） 市ウェブサイト（ https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasen-gesuido/gesuido/keiei/chukikeiei/gesuityuuki2022.html ）

2 実施結果（速報）

提出通数	116 通			
ご意見数	221 件			
分類と ご意見数	計画全般	20 件	施策 8：国際技術協力・水ビジネス展開支援	2 件
	計画の基本的事項	6 件	施策 9：事業を担う体制づくり	7 件
	施策 1：浸水対策	53 件	施策 10：下水道 DX・技術開発	11 件
	施策 2：地震対策	23 件	施策 11：下水道事業のプロモーション活動	6 件
	施策 3：良好な水環境の創出	10 件	施策 12：収入確保と支出削減	5 件
	施策 4：循環型社会への貢献	4 件	財政収支計画	21 件
	施策 5：維持管理	10 件	財政収支の長期推計	2 件
	施策 6：老朽化対策	6 件	参考資料	1 件
施策 7：温室効果ガスの削減	7 件	その他（分類できないもの）	27 件	

3 提出されたご意見の概要(抜粋)

計画全般	市庁舎での下水道イベントに参加した。これまで下水道を意識することはなかったが、大切さを実感した。引き続き、地道な取り組みを進めてほしい。
	これまでの中期計画と比べ、コラム等を使いかなり分かりやすくなっている印象である。
計画の基本的事項	4つの基本方針は、いいことが書いてある。形だけにならないように、ぜひその姿勢で取り組んでほしい。
施策1：浸水対策	大雨の際にあふれない対策をお願いする。
	水再生センターやポンプ場の耐水化率が低いのが懸念される。
	気候変動による浸水対策は重要だと思う。河川事業との連携をもっとしっかりして、安心できるまちづくりをお願いしたい。
	グリーンインフラといった施設整備には反対である。整備費も維持管理費もかかる。自然の保全にお金をかけた方がよい。
施策2：地震対策	地震などの災害時にも安全に使えるようにしてほしい。
	ハマッコトイレの市民の周知度が低いと思う。もう少し強調してほしい。
施策3：良好な水環境の創出	水質改善のため合流式下水道改善だけでなく将来的に分流式下水道に変更して欲しい。
施策4：循環型社会への貢献	下水汚泥を100%有効利用し、燃料化物や電気を作っているとは知らなかった。循環型社会の形成に向けて引き続き取り組んでほしい。
施策5：維持管理	永く安心して上下水道を使えるように施設の維持を進めてほしい。
施策6：老朽化対策	老朽管は早急に再整備して欲しい。
施策7：温室効果ガスの削減	脱温暖化は大きな課題として積極的に取り組んでほしい。新たな技術導入や官民連携の強化など期待する。今度、策定予定の「下水道脱炭素プラン」に2030 50%削減、2050 カーボンニュートラルに向けたできるだけ具体的な方策を示してほしい。
施策8：国際技術協力・水ビジネス展開支援	国際技術協力などの国際事業を支持します。新興国へは、世界的な下水道の普及には、横浜のような豊富な技術とノウハウの提供が必須。東京や横浜などの大都市がしっかりリードすべき。きれいで豊かな環境を、世界的に構築していくため頑張ってください。
施策9：事業を担う体制づくり	体制確保が必要とあるが、その通りだと感じた。民間企業も働き手が減っていくので連携して効率的に進めていく必要がある。役所がしっかりリードしていただきたい。
施策10：下水道DX・技術開発	DXの取り組みをしっかりと進めてほしい。その中で雨水管理情報等を一元化し、施設改良や運転改善等によって業務の質の向上や効率化を進めてほしい。
	温暖化対策には技術革新や新しいアイデアが必要だと思うが、技術開発は民間任せにせず、官民や産官学で協力しながら行い、少しでも経済的に下水道を運営できるように努力すべき。
施策11：下水道事業のプロモーション活動	市役所2階での下水道の展示や、センスの良い展示内容からホームページを閲覧した。下水道事業は目立たないが、良い取り組みをしている。もっと市民に知ってもらうようアピールすべき。
施策12：収入確保と支出削減	水道の使用量は減少しており、今後は市民数も減少していく中で、施設の老朽化は進んでおり、メンテナンス費用や更新費用等をどのように捻出するか、大きな課題だと思います。
財政収支計画	生活が苦しいので、下水道料金を値上げしないでほしい。
その他(分類できないもの)	まず民営化は絶対にしないでください。水道同様、下水道は大切なライフラインです。